

学位論文審査基準

薬学専攻博士課程

学位審査に当たっては、学位申請者が本学の定める大学院薬学研究科薬学専攻博士課程の学位授与の方針を満たしていることを前提とする。

千葉科学大学学位規程に定められた条件を満たして提出された学位論文は、以下の基準によって可否を審査する。

- 1) 学位申請者が主体的に取り組んだ研究成果について記載されていること。
- 2) 先行研究の評価や調査が的確であり、適切な論文の引用とともに明示されていること。
- 3) 研究背景に基づいた目的が適切に設定され、その意義や必要性とともに述べられていること。
- 4) 研究倫理を遵守した上で方法が具体的に記述され、適切な研究が実施されていること。
- 5) 実験や調査結果に基づいた考察が論理的に記述され、学術的あるいは社会的位置付けが記載されていること。
- 6) 研究の新規性、独創性ならびに発展性が十分に論述され、当該分野の発展に貢献するところが明示されていること。
- 7) 申請者が研究内容の意義、結果について十分に理解していることを、最終試験（論文発表会）において適切に示せること。
- 8) 学位論文を構成する内容について、査読付きの雑誌に掲載（または受理）済みの論文2報以上（内、筆頭筆者の論文が1報以上）があり、申請者が主要な寄与をしていることが明確であること。

※報文が共著者の学位申請に重複使用されることを避けるため、共著者の承諾書を添付すること。

学位論文審査基準

危機管理学研究科では、ディプロマ・ポリシーに基づき、以下の項目について学位論文を評価する。

危機管理学研究科修士課程

【修士論文】（特別研究）

1. 学位論文としての体裁が適切であること。
2. 学位申請者が主体的に取り組んだ研究成果であること。
3. 論文の内容が新規性や独創性を有していること。
4. 危機管理に寄与する内容を含むこと。
5. 論理的説明能力、研究分野に関連する幅広い専門的知識、学術研究における倫理性を有していること。

【修士課題研究】（課題研究）

1. 学位論文としての体裁が適切であること。
2. 学位申請者が主体的に取り組んだ研究成果であること。
3. 医療経済、病院運営管理、病院経営等を対象とした研究であること。
4. 危機管理に寄与する内容を含むこと。
5. 研究全般における倫理的配慮がなされており、論理的説明能力、研究分野に関連する専門的知識を有すること。

危機管理学研究科博士課程（後期）

【博士論文】（特別研究）

1. 学位申請者が主体的に取り組んだ研究成果であること。
2. 論文の内容が新規性や独創性を有し、学問の発展に貢献できる内容を含むこと。
3. 環境、動物、災害、社会、医療技術の分野のうち、複数の分野にまたがる危機管理に関する新たな提案・提言が行われていること。
4. 研究成果の論理的説明能力、研究分野に関連する高度で幅広い専門的知識、学術研究における高い倫理性を有していること。
5. 論文を構成する主要部分が、専門的な学術雑誌等に掲載される水準にあること

学位論文審査基準

千葉科学大学大学院看護学研究科 学位論文審査基準（課題研究）

項 目		審 査 基 準
研究主題について		高度看護実践への貢献性がある。 新規性、独自性がある。 今後の研究発展の可能性が認められる。
論文構成について	論文題目	論文題目に、研究内容を反映したkey wordsが含まれている。 意義ある研究であることが伝わる表現である。
	背景・動機	研究課題を取り組む必要性を文献を引用して論理的に記述している。 看護学の問題・課題の全体像を明確にし、研究の位置づけが示されている。
	研究意義	研究の意義について明示されている。
	研究目的	現場の問題を研究課題として捉えている。 研究目的が明確に示されている。 研究設問（RQ）または仮説が明示されている。
	研究方法	必要に応じて用語の定義、研究の枠組みが示されている。 研究目的に応じた研究デザイン・研究方法（対象の選定、データ収集方法、分析方法）が選択されている。 研究方法が明確にかつ具体的に記述されている。 信頼性・妥当性、確実性・真実性を保証する方法が示されている。
	研究結果	研究方法に基づいて、必要なデータが収集されている。 研究目的に沿って、分析結果が記述されている。 図・表等はわかりやすく提示されている。
	考察	目的に沿って論理的に展開されている。 結果に基づき、解釈に矛盾や飛躍がない 文献が適切に活用されている。 看護実践の変革・改善や看護学への貢献性が示唆されている。
	研究の限界と課題	研究の限界と課題が適切に述べられている。
	結論	得られた結果、考察から結論が導かれている。 簡潔明瞭に記述されている。
	倫理的配慮	倫理審査委員会の承認を得たことが記載されている。 研究過程の全てにおいて、倫理的配慮がなされている。 利益相反（COI）について開示されている。
	文献	研究計画書本文に引用された文献が示されたルールに沿って記載されている。
論文全体		研究主題・目的・方法から結論に至るまで首尾一貫した構成である。 簡潔明瞭で、一貫性、論理性のある論旨が展開されている。
要旨		研究目的、方法、結果、考察、結論が記述されている。 簡潔、明瞭に記述され、一貫性がある。
口頭試問		研究内容をわかりやすく説明できる。 質問に応じた内容を自分の言葉で簡潔、明瞭に説明できる。 今後の活かし方を説明できる。 修士課程での成果を説明できる。

学位論文審査基準

千葉科学大学大学院看護学研究科 学位論文審査基準（実践特別研究）

項 目		審 査 基 準
研究主題について		看護実践への貢献性がある。 新規性、独自性がある。 今後の研究発展の可能性が認められる。
論文構成について	論文題目	論文題目に、研究内容を反映したkey wordsが含まれている。 意義ある研究であることが伝わる表現である。
	背景・動機	論文題目に即した文献検討に基づき、研究背景が整理され、研究課題が明確に示されている。 看護学の問題・課題の全体像を明確にし、研究の位置づけが示されている。
	研究意義	研究の意義について明示されている。
	研究目的	研究目的が明確に示されている。 研究設問（RQ）または仮説が明示されている。
	研究方法	必要に応じて用語の定義、研究の枠組みが示されている。 研究目的に応じた研究デザイン・研究方法（対象の選定、データ収集方法、分析方法）が選択されている。 研究方法が明確にかつ具体的に記述されている。 信頼性・妥当性、確実性・真実性を保証する方法が示されている。
	研究結果	研究方法に基づいて、必要なデータが収集されている。 研究目的に沿って、分析結果が記述されている。 図・表等はわかりやすく提示されている。
	考察	目的に沿って論理的に展開されている。 結果に基づき、解釈に矛盾や飛躍がない 文献が適切に活用されている。 看護実践の変革・改善や看護学への貢献性が示唆されている。
	研究の限界と課題	研究の限界と課題が適切に述べられている。
	結論	得られた結果、考察から結論が導かれている。 簡潔明瞭に記述されている。
	倫理的配慮	倫理審査委員会の承認を得たことが記載されている。 研究過程の全てにおいて、倫理的配慮がなされている。 利益相反（COI）について開示されている。
	文献	研究計画書本文に引用された文献が示されたルールに沿って記載されている。
	論文全体	研究主題・目的・方法から結論に至るまで首尾一貫した構成である。 簡潔明瞭で、一貫性、論理性のある論旨が展開されている。
要旨		研究目的、方法、結果、考察、結論が記述されている。 簡潔、明瞭に記述され、一貫性がある。
口頭試問		研究内容をわかりやすく説明できる。 質問に応じた内容を自分の言葉で簡潔、明瞭に説明できる。 今後の活かし方を説明できる。 修士課程での成果を説明できる。

学位論文審査基準

千葉科学大学大学院看護学研究科 学位論文審査基準（特別研究）

項 目		審 査 基 準
研究主題について		看護学、看護実践への貢献性がある。 新規性、独自性がある。 今後の研究発展の可能性が認められる。
論文構成について	論文題目	論文題目に、研究内容を反映したkey wordsが含まれている。 意義ある研究であることが伝わる表現である。
	背景・動機	論文題目に即した文献検討に基づき、研究背景が整理され、研究課題が明確に示されている。 看護学の問題・課題の全体像を明確にし、研究の位置づけが示されている。
	研究意義	研究の意義について明示されている。
	研究目的	研究目的が明確に示されている。 研究設問（RQ）または仮説が明示されている。
	研究方法	必要に応じて用語の定義、研究の枠組みが示されている。 研究目的に応じた研究デザイン・研究方法（対象の選定、データ収集方法、分析方法）が選択されている。 研究方法が明確にかつ具体的に記述されている。 信頼性・妥当性、確実性・真実性を保証する方法が示されている。
	研究結果	研究方法に基づいて、必要なデータが収集されている。 研究目的に沿って、分析結果が記述されている。 図・表等はわかりやすく提示されている。
	考察	目的に沿って論理的に展開されている。 結果に基づき、解釈に矛盾や飛躍がない 文献が適切に活用されている。 看護実践の変革・改善や看護学への貢献性が示唆されている。
	研究の限界と課題	研究の限界と課題が適切に述べられている。
	結論	得られた結果、考察から結論が導かれている。 簡潔明瞭に記述されている。
	倫理的配慮	倫理審査委員会の承認を得たことが記載されている。 研究過程の全てにおいて、倫理的配慮がなされている。 利益相反（COI）について開示されている。
	文献	研究計画書本文に引用された文献が示されたルールに沿って記載されている。
	論文全体	研究主題・目的・方法から結論に至るまで首尾一貫した構成である。 簡潔明瞭で、一貫性、論理性のある論旨が展開されている。
要旨		研究目的、方法、結果、考察、結論が記述されている。 簡潔、明瞭に記述され、一貫性がある。
口頭試問		研究内容をわかりやすく説明できる。 質問に応じた内容を自分の言葉で簡潔、明瞭に説明できる。 今後の活かし方を説明できる。 修士課程での成果を説明できる。